



JCNA 通信 第24号

発行日 2018.8.
発行人 山口郁乃
編集人 福島恵子
創立 1957 (S32) 年
会員数 250 人

2018 年度テーマ

神が成し遂げられたことへの驚き 「力ある方がわたしに偉大なことをなさいましたから」

日本カトリック看護協会 会長 山口郁乃

みなさま、お元気ですか？酷暑お見舞い申し上げます。
気候は荒々しく変動していくようです。奉仕のためには、自身の健康管理が大切です。
お大事になさってください。

今年の総会、大会から半年、支部にもいろいろなできごとがあったことでしょうか、残念なことも。誠心誠意したことでも思わぬ結果になった時、私はある宣教師の言葉を思い出します。「地上で成果は得られなくても悲しまなくていい。イエス様もこの世では勝利されなかった」。私たちには復活の主がついておられる。安心して力を合わせてまいりましょう。

小さな本部を助けてくれる「代行」、今、3つの働きに6名の方をお願いしています。
「大震災の被災者を支援し原発のない日本を希望する」仙台支部長古関睦さん。
「新しいいのちが祝福の中に生まれることを支援する」長谷川副会長と前京都支部長西川加之子さん。

「2019年の第3回カトリック医療団体協議会全国大会 in 長崎運営協力」長崎支部長野下しのぶさん、聖フランシスコ病院から石岡ヒロ子さんと小山田恵子さん。
「平和への希求」は本部担当として、とりあえず会長山口が9月のCICIAMS世界大会で「JCNAからの平和アピール」をして来る予定です。通訳と記録係として札幌支部顧問のケン神父様が同行されます。

核のない平和なんて絵空ごとだという空気が充満している世界にあって、それでも核と人間は共存できないことをNsが言い続ける必要があります。

政治はどう流れるかわからない、でも私たちは向き合って命流れる中で平和をつくっていきましょう。

支 部 短 信

新潟 支部長 中村文子

天候にも恵まれた時期である今、巡礼や被災地そして各自の教会で行われている行事に対し、神への賛美と感謝をもって活動しています。各自の活動を通して周りの方々へカト看の活動を伝えることができたらと思います。『仕えられるためだけでなく、仕えるために』

仙台 支部長 古関 睦

7月 JCMA の総会時の講演会参加予定。

恒例のマリア祭をスペルマン病院の内科病棟で主催予定。(顧問司祭の佐々木宏神父さまの祝福、マンドリン演奏会) 東松島の野蒜が丘の復興住宅に移られた方が作成された箆や小物、松島湾の野々島の方々が発興させたラベンダーの作品を名古屋の全国大会で販売予定です。箆の売上の一部は集会場での催しに、ラベンダー作品の売り上げは島の花火大会に寄付いたします。ご協力お願い致します。

東京 支部長 西村晶子

毎月第3日曜日の JCMA 研修会に参加できるように計画しております。

会費の納入案内を4月にはご案内をしておりますが、今だ、年度開始が4月でないことの戸惑いがあり困っております。今後の課題と思います。

横浜 支部長 井坂玲子

みなさま 大変お待たせしておりました全国大会冊子が間もなく出来上がります。今、印刷、校正の最終段階に入っております。遅くなりましたが、素敵なものに仕上がっていると思います。楽しみにお待ちしております。

また、20年ほど前に横浜支部長として活躍されました丸山和榮さんが帰天されました。お祈りください。(平田副支部長)

名古屋 支部長 鈴木光恵

3月20日全国大会会場となる聖霊病院の師長・主任クラスの看護師と会員を交えた『司教様との集い』を開催。松浦司教様の分かりやすいお話で「カトリック病院で働くことの意味が少し分かりました。」という感想を聞くことが出来ました。

10月全国大会では、松浦司教様の基調講演を予定しております。名古屋でお会いできることを楽しみにしております。

京都 支部長 山本信子

5月の例会では、病者の日」教皇メッセージを読んで、分かち合いをしました。

聖母マリアが置かれた場でとられていた振る舞いは、そのまま、カトリック看護師の道しるべになります。忘れていたことも多いので、もう一度思い出して行きます。

大阪(大阪グループ・姫路グループ)

支部長 川口百合子

4月16日大阪支部合同黙想会及び、交流会をマリア病院の講堂で行ないました。テーマ「神様が私たちに語りかけておられることを聴き、語ろうとしておられることを聴きましょう」。会員と釜ヶ崎ボランティア支援者など20名近くの参加でした。藤原昭神父様の講話の後、しばらく沈黙と祈りの時間を過ごし、昼食を共にしながら分かち合いを行ないました。それぞれ自由に開かれた雰囲気の中で今までにない深い分かち合いが出来たことを感謝しました。置かれた場で、いただいた使命を果たしていくための活力になることと信じています。



高松 支部長 藤田芙美緒

高松支部は、会員が少なく、活動が難しくなっています。祈りと会費だけの状態です。みなさま、高松支部のためにお祈りください。

広島 支部長 山口郁乃

津和野乙女峠祭には、東京支部の会員が2名、救護テントに声をかけてくださいました。うれしいですね。6月16日はサビエル高校祭に出向いて、健康相談とバザーをしました。できれば、円ブリオにささやかな寄付を集めました。

7月30日は広島教区医師とコメディカルの会を主催予定のところ、台風で中止しました。

福岡 支部長 牧山幸二

11/3「神学院祭」と11/23「福岡教区の日」に救護活動を行った。今後は3/21に司祭叙階式が予定されている。例会は基本奇数月の第4日曜日に熊本で開催している。顧問司祭の講話をテーマに、会員の体験や意見を分かち合っている。

大分 支部長 阿南幸子

6月2日～3日、第16回広島・福岡・長崎・大分支部主催の合同黙想会を持ちました。

オプス・デイ属人区の小寺神父様のご指導を頂きました。(神の子の自由)(信仰と自由)(自由は愛するためにある)(すぐ隣にいる聖人)(神の子として生きる)(日常生活が祈りとは何ですか?)のテーマで講話をいただきました。

講話はとても具体的でわかりやすく「キリスト者としてどうあるべきか」が、心の中にしっかり入って来ました。別府温泉につかり全員同志の心からの交わりに心と体を癒された恵み多い一泊二日でした。

鹿児島 支部長 Sr.澤や工子

昨年8月から支部長を引き受けましたが、新しい動きはありません。以前からの小教区での健康相談を、出来るだけ継続して行こうと少ない会員数で継続しています。顧問司祭の変更がありました。この4月から丸野六雄神父様から小隈憲士神父様へ交代になりました。これから新しい司祭と共に、新しい会員の募集・会員の霊的向上と親睦を図って行きたいと考えています。

2018年5月13日

那覇支部

あれっ、那覇支部ってありましたか？ まだです。声掛けはしています。

少し遠い沖縄も日本、那覇教区ですから、支部を設立できるといいですね。

沖縄旅行される方は、お友達に声掛けされてみてはいかがでしょう(山口郁乃)



* 編集後記 *

諸般の事情により
発送が2か月遅れたことを
お詫びいたします。

顧問司祭からの手紙

本部顧問及び横浜支部顧問 飯野雅彦神父様(横浜教区磯子教会主任司祭)

やっと晴れ間が見れるようになってきました。空を見上げるといろいろな形をした雲が流れています。その形は目を離すとすぐに変わってしまい、その変形に心象が追いつきません。「万物は流転する」といった昔の哲学者の言葉を思い出します。

雲に限らず、この世の全ての物事はいつも変化しているようです。一つのことを「良し」として追求していくと、いつの間にか「悪し」に変化してしまうことが多くあります。何故なのだろうかと疑問に感じます。

人間の持つ「我欲」がいろいろな形で加わるからではないかと思われまます。

年をとってくると体力が落ちてくるせいでしょう。まっすぐに歩いているつもりでも、いつの間にか右に曲がったり、左に傾いていたり、平らなところなのにヒョイと躓いて転んでしまうことがあります。

わたしたちの心の体幹も、しっかり鍛えておかないと、悪へ悪へとずれてしまい易いのではないだろうか。「神を信じ、隣人を愛しなさい」と言われたイエス様のお言葉に従うというキリスト者の心の体幹を、祈りと愛の実践をもって日々鍛えておかないと、私たちの信仰、愛は他者のためではなく、自分の満足のためにのみ使うことになりかねません。

毎日の業を果たすにあたって、イエス様から愛されその愛の実践に、前進する者としての心の体幹を強めていきたいものです。

本部より

- ① 5月15日、花咲き乱れる磯子教会に会長、副会長、会計の3人が集まって、飯野神父様に励まされながら、歴史的資料を整理しました。方針は、「保存のためにできるだけコンパクトにする」。今まで保存された方々のご努力を感じつつ、すべての資料を1部のみ保存としました。電磁的な記録にしたい古いものほどスキャンもできない古び方でしたので、今回はそのままの保存です。最終的に衣装ケース12箱くらいあったものを2箱に収めました。(過去、お預かりくださった方々に厚く感謝申し上げます)
- ② 2019年8月2日～3日開催される全国大会のテーマは、長崎で被爆されたカトリック医師パウロ永井隆博士、「平和を」と訴え続けた永井博士を理解する大会です。今から準備が進められますが、主会場はJR長崎駅に近いホテルニュー長崎となります。宿泊の手配はお早めにどうぞ。準備や運営にはJCNAから3名の長崎支部会員が奉仕されます。永井博士列福の機運高まる大会になりますように。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。世界遺産を含むオプションツアー計画されます。
- ③ JCNA第59回全国大会 in 名古屋、準備が進んでいます。名古屋のカトリック医療の中心、聖霊病院様が全面協力してください。初めて名古屋に来られる方、名古屋駅から聖霊病院へは時間のゆとりをもって計画してください。地下鉄は270円、タクシーだと約4000円。ホテルも便利なところを早めに確保されるようお勧めします。
- ④ カトリック医師会の会長が交代されました。(新会長篠崎文彦医師) 前会長の人見滋樹医師は、「高齢になってからの手術で、臥床が続くことの危険性」を体験され、現在リハビリに励みつつ、こうのとりのゆりかご in 関西を主導されています。